

イデックスオイルレポート ~For a month~

株式会社新出光

【月次概況】

●第1週、11/7のWTI原油は、先週比1.23ドル安の59.75ドルとなった。  
スイスのコモディティー（商品）商社ガンバー・グループは6日、ロシア石油大手ルクオイルの海外資産を買収する提案を撤回したと明らかにした。米財務省がガンバーをロシアの「操り人形」と表現し、取引に反対する姿勢を示唆したことを受けての対応とみられている。

●第2週、11/14のWTI原油は、先週比0.34ドル高の60.09ドルとなった。  
ロシア当局の発表として、黒海に面するロシア南部の港湾都市ノボロシスクで14日未明にウクライナのドローン攻撃があり、船舶や石油貯蔵施設が被害を受け、周辺の湾港からのエネルギー輸出が停止したと報道。同報道によると、ノボロシスク港からの輸出は日量220万バレルで、これは世界供給の2%に相当するという。

●第3週、11/21のWTI原油は、先週比2.03ドル安の58.06ドルとなった。  
トランプ米政権が取り組むウクライナ侵攻終結に向けた新和平案と安全保証に関する枠組み案の全容を報道。それによると、ウクライナに軍事力の縮小と東部2州の割譲を迫る一方、ロシアには「重大かつ意図的、継続的な攻撃」が認められれば武力行使を辞さないとする項目が盛り込まれた。

●第4週、11/28のWTI原油は、先週比0.9ドル高の58.55ドルとなった。  
ロシアのウクライナ侵攻終結に向けた和平交渉で早期に合意に達し、西側諸国によるロシア産石油輸出への制裁が即時解除されるとの観測が原油買いを促した。ただ、交渉が長引くとの観測や、和平合意が成立しなければ、対ロ制裁が強化されるとの見方も根強い。

	11月平均	WTI原油	64.57ドル	前月比	-0.48ドル	為替 1ドル	156.20円	前月差	3.90円
--	-------	-------	---------	-----	---------	--------	---------	-----	-------

日付	補助金	出光興産	変動幅	ENEOS	変動幅
11/1～11/5	10.0/10.0/5.0		+3.0		+3.0
11/6～11/12	10.0/10.0/5.0		+0.5		+0.5
11/13～11/19	15.0/15.0/5.0		-0.5		-0.5
11/20～11/26	15.0/15.0/5.0		±0		±0
11/27～11/30	20.0/17.1/5.0		±0		±0

左からガソリン/軽油/灯油重

【単位:円/KL】

メニュー価格推移	0.5HPP		ENEOS LS船用燃料油基準価格	
	2025年7-9月C重油決定価格	83,970	85,990	【 83,970(メニュー)+ 2,020(プレミアム) 】
	2025年10-12月C重油仮価格	83,590	87,190	【 83,590(メニュー)+ 3,600(プレミアム) 】
	2025年10-12月C重油決定価格			
	決定価格 前期比			

【単位:円/KL】

内航燃料油価格推移	適合C重油		A重油
	2025年7-9月決定価格	91,390	100,600
	2025年10-12月仮価格	92,590	
	2025年10-12月決定価格		
	決定価格 前期比		

CIF価格推移	年/月	9桁速報	原油CIF価格 円/kl	通関CIF ドル/bbl	為替レート 円/ドル	原油CIF価格 前月比
	25/10	9桁速報	69,889	74.29	149.57	2,092
	25/11	最終予測	67,599	70.32	152.85	-2,290
	25/12	展望	66,175	70.14	150.00	-1,424
	26/1	展望	64,982	69.81	148.00	-1,193

【次世代エネルギー】 < 東京都で初 大規模グリーン水素の製造始まる “都産の水素” >

東京都は、脱炭素化とエネルギーの安定供給に向けて“都産グリーン水素”の製造に取り組んでいる。東京・大田区に新たに整備された「京浜島グリーン水素製造所」で、都内で初となる大規模なグリーン水素の製造が始まった。

23日に行われた開所式では、東京都の小池百合子知事、水素の活用促進で都と連携協力する山梨県の長崎幸太郎知事、東京・大田区の鈴木晶雅区長らが出席した。東京都の小池知事は「国際情勢の先行きが見えずエネルギーをめぐる状況も混沌としている」と懸念を示し、今後、製造所の設備増強を進め、2027年度には現在の3倍の量の水素を製造できることを目指すと述べた。製造所には、都と山梨県が共同開発した水電解装置が整備された。これは、広い土地の確保が難しい都内でも設置できるよう小型化され、効率的に水素を製造できるとしている。

都によりますと、グリーン水素は水力、風力、太陽光などの再生可能エネルギー由来の電力を利用して水を電気分解して製造するため、二酸化炭素を出さず、環境負荷が少ないエネルギーだということのようだ。

水素は、燃料電池自動車や発電のほか、肥料製造や金属加工など幅広い用途で使えるとして、都は、民間事業者と共同で、都産グリーン水素を原料とする化粧品の製造事業に取り組んでいる。

【次月価格変動要因】

●需要：  
・米国は強弱入り混じる景色も、個人消費は拡大基調。米国製造業は内需に支えられた新規受注の伸びで小幅改善も、輸出受注は減少傾向で内需依存度が高まっている。米政府閉鎖が終了し、発表された米9月雇用統計は失業率が4.4%に上昇したことが懸念材料となった。10月の雇用統計は発表されない見通しで、12月FOMCは暗中模索の展開となりそうだ。米10月新車販売台数は減少も、一方で空港搭乗ゲート通過数の伸びは拡大するなど、旅行消費は堅調であることが示された。

・中国は主要指標が軒並み減速。  
補助金効果が剥落した他、過当競争抑制策、地方政府の財政難が経済活動を下押し特に民間の固定資産投資が急減しており、需要面での短期的な回復は足元見込めない。12月は来年度の景気刺激策が実務担当者間で議論される時期であり、来年度の中国重要趨勢を占う上で重要。

●供給：  
・露宇和平への道はまだ遠い。ウクライナが米国の和平案について前向きに検討と報じられ、原油価格の下落に繋がった。  
一方、領土問題やNATO加盟についてはなお明確な結論が出ておらず、ロシア側が応諾するとも限らない。

<1ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	69	65
Average	63	59
Low	57	53

<3ヶ月価格見通し> (単位:US/bbl)

	Brent	WTI
High	70	66
Average	62	58
Low	54	50

日付	国	12月経済指標カレンダー	日付	国	12月経済指標カレンダー
1	米国	11月ISM製造業景況指数	17	ユーロ	11月消費者物価指数
2	ユーロ	11月消費者物価指数	17	米国	11月小売売上高
3	米国	11月ADP雇用統計	18	ユーロ	欧州中央銀行(ECB)政策金利
3	米国	11月ISM非製造業景況指数	18	米国	11月消費者物価指数
5	ユーロ	7-9月期四半期域内総生産	18	ユーロ	ラガルド欧州中央銀行(ECB)総裁、定例記者会見
5	米国	9月個人消費支出	19	日本	日銀金融政策決定会合、終了後政策金利発表
8	日本	7-9月期四半期実質国内総生産	19	日本	11月全国消費者物価指数
10	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)、終了後政策金利発表	19	日本	植田和男日銀総裁、定例記者会見
10	米国	パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見	19	米国	7-9月期四半期実質国内総生産
16	米国	11月非農業部門雇用者数変化(	19	米国	11月個人消費支出
16	米国	11月失業率	23	米国	11月新築住宅販売件数
16	米国	11月平均時給	31	米国	米連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨